

1. 件名：川内原子力発電所及び玄海原子力発電所の地震等に係る新規制基準  
適合性審査に関する面談

2. 日時：令和5年12月18日（月） 16時00分～16時20分

3. 場所：原子力規制庁内会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口上席安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、井清係員、松末技術参与

九州電力株式会社：テクニカルソリューション統括本部 土木建築本部  
執行役員 赤司副本部長 他8名

（うち3名はテレビ会議システムによる出席）

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・玄海原子力発電所3号炉及び4号炉 標準応答スペクトルを考慮した地震動評価について
- ・玄海原子力発電所3号炉及び4号炉 標準応答スペクトルを考慮した地震動評価を踏まえた基礎地盤及び周辺斜面の安定性について（特定重大事故等対処施設を除く）
- ・川内原子力発電所1号炉及び2号炉 標準応答スペクトルを考慮した地震動評価について
- ・川内原子力発電所1号炉及び2号炉 標準応答スペクトルを考慮した地震動評価を踏まえた基礎地盤及び周辺斜面の安定性について（特定重大事故等対処施設を除く）
- ・川内原子力発電所1号炉及び2号炉 日向灘及び南西諸島海溝周辺の地震活動の長期評価（第二版）の影響について

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	規制庁地震津波審査部門の鈴木でそれでは今から川内城カセ職員会 原子力発電所の面談と
0:00:11	で始めたいと思います。
0:00:13	本件は先週の12月15日ですかね、一応まとめ資料をということで、
0:00:19	資料のご提出をいただいて、受け取りの面談をということだったんです
0:00:23	も、入る、最後の参考文献、
0:00:27	表中で引用している参考文献
0:00:30	シラガサンゴの文献リストのないものが
0:00:33	例えば、
0:00:34	地震調査委員会2013とかですね、こういったものがないと。
0:00:38	で、
0:00:38	今一度全体ですね。
0:00:41	川内玄海の地震動、地盤斜面、また、仙台の長期評価
0:00:45	のチェックいただいて
0:00:48	漏れてるような文献があればさ、
0:00:50	参考文献として追加
0:00:52	ことで、
0:00:53	先週の金曜日、
0:00:55	必要本日付で、
0:00:58	今申し上げた五つですね、資料がご提出ありましたので、
0:01:02	まずは
0:01:04	方から簡単にご説明を。
0:01:09	はい。九州電力の大村です。先に地震動の方ですけれども仙台の方の TTS082、それから玄海の方の
0:01:20	TPG072の方で参考文献の方の修正をいたしておりますのでそちらに ついて先にご説明させていただきます。
0:01:29	先にじゃあ衛藤TTS082の方ですけれども、文献参考文献のページで 139ページ140ページをお願いいたします。
0:01:40	こちら、前回のご説明でもコメントいただいておりましたけれども、冒頭 のカトウ他であったりとか、それから、後の方にあるハザード関係への 説明に使っております。
0:01:55	評価に関する参考文献等の記載をちょっと省略していた部分がございます ので、そちらについて参考文献を追加してございます具体的には、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:06	文献番号でいうと一番それから 10、10 番 11 番、14 番から 17 番、それが 22 番の分岐を追加してございます。
0:02:15	合わせまして本文の方の記載につきましても、わかりやすさの観点から、本文中それから表中の文献番号の表記を、
0:02:25	改めてちょっと記載をするようにしておりますそちらを修正してございます。
0:02:32	続きまして玄海の方でございますけれども、
0:02:37	こちらがTPG07になります。322 ページから 324 ページが参考文献の提示になりますけれども、
0:02:48	川内同様で加藤ほか、それからハザードに係る参考文献それから既許可の地下構造モデルの根拠に関わる参考文献等を記載を追加してございます。
0:03:02	具体的には参考文献番号で言いますと一番、それから 18 番、22 番 23 番、それから 26 番から 31 番と最後に 41 番で、先ほど鈴木さんからもご指摘ありました佐藤ほかの 2013 等についても追加をしてございます。
0:03:19	こちら川内と同様ですけれども本文の中の記載についても記載を統一してエミ直してございます。
0:03:28	地震動については以上になります。
0:03:32	続きまして地震本部の方の仙台。
0:03:37	の方ですけれども、TBS081 になります。
0:03:45	こちら文献番号 49 ページになりますけれども、
0:03:51	参考文献として一部ちょっと記載を省略しておりました部分といたしまして、地震本部の 2001、それから気象庁のカタログについて記載を追加してございます。すいません。49 ページですね。
0:04:05	地震動と気象地震本部については以上になります。
0:04:14	はい。
0:04:16	説明者かわりまして九州電力の村上です。すそ地盤関係について説明させていただきます。
0:04:21	まず仙台の方ですけれども、資料番号TTS-079。
0:04:26	です。
0:04:28	修正としましては、一番最後のページ、仙台の方でいきますと、77 ページになりますけれども、本文中では、参考文献、
0:04:38	記載していたところですが、参考文献を取りまとめたページがございませんでしたのでこちらに 1 ページ追加をしてございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:45	続きまして玄海の方ですけれども、資料番号dtG-070。
0:04:51	こちらも仙台同様に、最後のページ
0:04:54	693 ページになりますけれどもこちらに参考文献ということで1 ページ追加を、
0:04:59	せていただいております。
0:05:01	基礎地盤については以上です。
0:05:09	はい。慶長地震津波の鈴木です。
0:05:11	まず簡単な基礎地盤周辺斜面、
0:05:16	川内と玄海川内の方だけはですねワン他が入ってくるということで、基本的に、
0:05:22	地盤斜面評価方法の細かいようなところは、今日から変えてませんということであまり具体はそもそも中身にあまり書いてはないんですけど、
0:05:31	少なくとも、
0:05:33	テンロクで載せているような文献で、漏れがあるっていうようなものは特にないのですかね、基本は最後のページに参考文献。
0:05:44	しました。
0:05:45	そんなに多くは多分ないと思いますので、
0:05:57	審査
0:05:58	九州電力の村上です。申請書のほうでいきますと、玄海川内ともに、参考文献三つ記載させていただいてます。
0:06:05	で、少数
0:06:08	今回のまとめ資料との比較という意味でいきますと、今、鈴木さんからおっしゃられた、ワン、
0:06:15	ですね、こちらの川内では
0:06:18	今回生産を追加したことで、評価が必要かどうかというところも含めて確認をさせていただきますけれども、玄海につきましては、そもそも
0:06:30	評価不要ということで、今回、
0:06:33	まとめ資料の方には、そちらの評価できませんので、こちらのまとめ資料の方には今記載をございません。
0:06:45	はい。もともと六条も電話は他と電気協会の
0:06:51	ギャップの 46011
0:06:53	987 かな。
0:06:56	これは多分今回、どちらも入っていて、
0:07:00	あとわあ、土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策推進に関する、これ法律そのものなので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:09	多分今回の話の文脈上は出てくる。
0:07:11	まとめ資料の文脈ちょっとできてないってことですね。はい。
0:07:22	はい。続いて、
0:07:23	長期評価の方ですね川内の今回、浅井 4049 ページで、
0:07:30	地震調査委員会の 2001 とあと気象庁カタログの 2011 年の
0:07:36	年報
0:07:38	法ですかね。
0:07:40	あと月報はこれはまあ年度限らずのリンクなんですかね。
0:07:44	これすいません説明の、
0:07:46	ナカだと、どこのページに該当するやつですか。
0:07:54	はい。九州電力の野々村です。地震カタログについては例えば 17 ページや、18 ページ。
0:08:03	当間衛藤当社が使ってる気象庁カタログとそれから地震本部が引いてる証書カタログ両方共通の扱いとして気象庁カタログをに飛ばしてると。
0:08:16	というようなことになっております。
0:08:24	九州電力の徳永です。地震本部の 2001 の長期的な地震発生確率の評価手法というのを今回入れてます。それにつきましては 40 ページ、参考 1 のですね、
0:08:37	既許可図の確率論的津波ハザード評価への影響の中の 40 ページのところ、ここもそもそも我々が引いているわけではないんですけど地震本部が将来発生する地震の評価。
0:08:49	を算定するにあたって、この地震本部 2001 に基づき、発生確率を算定しているところを、記載をしていました。
0:08:58	それを今回、引用するよう、一応後の参考文献にも載せるというようなことをやってございます。以上でございます。
0:09:08	計上するんですね。ですはい。ありがとうございますそこ自身、
0:09:12	そんなに分件数が多くないからなんですかねこれ。
0:09:16	それぞれ文献が出てきたときに * というか、番号を振ってから後ろに最後上げるパターンと、
0:09:22	これは宗課長評価の方は、
0:09:25	特にそうはしてないんですねはい。
0:09:28	今 40 ページのところではこれはあれですか、箱書きの中 2 地震本部の 2001 が出てるのでこれは書いて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:36	さらに地震本部呉-2022の細かい注釈のところに出てくるような文献はこれ別に直接参照してないんで、ここまでは拾ってないってことですね。
0:09:47	これなんですか。いいよ。
0:09:49	ユリオオキなのか。
0:09:52	6、
0:09:54	何か※4で注釈の4とかに文献の名前だけしか出てきてないんですけど多分これは、
0:09:59	9節、
0:10:01	多分なんか拾ってないから、
0:10:04	上乘せないんですよね。
0:10:06	6本。
0:10:08	はい。九州電力の徳永です。こちらにつき、沖ほか2020だと思われま すけれどもこれにつきまして地震本部が見ている部分をそのまま貼って いるもので、我々の表中、説明した論旨の中には出てこない。
0:10:22	ものでもありますので、箱書きの中にはですね、出てこないものです のでこれには文献番号振ってください。
0:10:30	はい。
0:10:30	ということですよ。はい、わかりました
0:10:34	はい。
0:10:39	当間川内と玄海の地震動の方は
0:10:43	カトウ他は逆に言えば今回、申請書の添6の記載から逆に落ちるとい うか、構成上落ちるか。
0:10:52	やって、
0:10:53	或いはテンロクの中に新しく加わるものっていうのは、こういったそれは さすがにまとめ資料の中でも、当然、重要視されて触れられてる内容だ と思う。
0:11:04	地盤斜面と違って地震動それなりに、申請書上も引用文献とかはあり ますけど、今見る限りだと
0:11:13	地震調査委員会の2003、
0:11:15	気象庁カタログなんか、
0:11:17	テンロクには出て、
0:11:19	そういうなものも一応見る限りですね。
0:11:21	気象庁の地震年報2012、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:25	途中で一応更新版の 2 イセ、最新の更新版にした上でハザードの影響とか見てましたけど、
0:11:34	それは一応読める形になってんですかね、限界だと 26 番気象庁って書いてますけど、
0:11:39	これ地震年報が 2012 で、地震月報カタログ編となっていて、
0:11:44	このカタログ編とかで、
0:11:46	ハザード評価って、よく評価の時と、一応最新のデータに置き換えても、
0:11:53	大きく変わります
0:11:55	最新のデータを使った上で、この資料の中でですね。
0:11:59	検討はしてるんだと思うんですけど。
0:12:01	ちょっとまずその気象庁カタログとか気象庁地震年報とかって言われるところ、そこは一応今この表記で両方拾ってるんで、
0:12:11	この 2012 とか、
0:12:12	はい。九州電力の野村です。江藤鈴木さんのおっしゃる通りで、もともと既許可の時に読み込んでいた地震年報 2012 と 2011 がありまして、
0:12:24	それに加えて今回更新したものも見ているというところで、年報に加えまして地震月報カタログ編ということで最新のものを見ているという記載に川内玄海、どちらもなっているというところになってございます。
0:12:39	そういう役割なんですね。はい。
0:12:42	あと他は、申請書上でさすがに記載しているものが漏れてるってのは少なくとも際、
0:12:48	このまとめ資料なんで、申請書上と言っても
0:12:52	今回のまとめ資料で触れられていない部分も当然あるわけですけど震源を特定してるところとかね。
0:12:58	あるわけです。そこはさすがに漏れていないのかな。
0:13:02	特定せずとかで申請書では、少なくとも申請書類をまとめるのが詳しい。
0:13:11	九州電力の野村です。衛藤申請書に書いてあってまとめ資料に書いてないというものは基本的にはございません。今回
0:13:19	参考文献として追加しているものとして大きくは仙台の方で、地震本部のところの、2004 年の第 1 版のところ、もともと見て、参考はしているんですけども、
0:13:32	参考文献としては記載していなかったものについて 33、3435 で記載しているものがあるかと思えます。
0:13:39	以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:49	はい。ごめんなさい今 33、34
0:13:52	何の話ですか
0:13:53	ゼンショーの方ではないですねすいません。
0:13:56	申請書の 3334 という 34、35。
0:14:02	34 歳はい。2004 と 2020 年ですねそうですね。
0:14:07	はい。
0:14:08	地震調査委員会の
0:14:10	日向灘の第 1 版と初版等谷は、
0:14:14	はい。
0:14:18	もう 1 個 * の何か振り漏れとかそういうところまでは、
0:14:22	ホデ。
0:14:23	いませんけど、一応御社の中で
0:14:27	漏れがないかっていうことで確認をされて資料参考文献等を付け加えた。
0:14:34	で、
0:14:35	はい。そこは国をシマシ
0:14:46	じゃ、どうぞ。
0:14:50	はい規制庁佐口ですけど。
0:14:52	すごく細かい
0:14:53	恐縮なんですけど、ちょっと長期オカノ、先ほど少し、
0:14:57	40 ページのところでお話ありましたけど、
0:15:02	これ確認だけです。何かしろってわけじゃなくて、
0:15:07	この 40 ページの
0:15:09	表があるんですけど、これって、
0:15:12	本当にこの
0:15:13	文献で示されている。
0:15:16	長期評価括弧第 2 版本体ですよ。この中に出てきます。
0:15:28	はい。九州電力徳永です。地震本部の 2022 の中の概要版として公開されているものの中にこの資料が掲載をされていると。
0:15:40	はい規制庁佐口です。わかりました。確認ができましたので、いわゆる本体ではなくって、多分その概要とか何か
0:15:49	今回のそのポイントとかですね、多分、別途
0:15:53	参考的に多分推本で用意されている、何かポイントとか何かそんなのもあったと思います
0:16:01	その中には少なくとも出ているってそういう理解でよろしい

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:16:04	はいわかりましたありがとうございます
0:16:12	はい。
0:16:13	よろしいですかね。
0:16:16	はい。
0:16:17	金曜日も申しあげましたけど一応これ、将来的に、
0:16:22	審査の結果という形で、ずっと残っていくものに、
0:16:27	でも後から
0:16:28	その5年後10年後とかに当時の審査を振り返ったときに、
0:16:32	当時の申請或いは審査を振り返ったときに、紛れがないようにということ でやっていただいていますんで、はい。
0:16:39	じゃあ、特になければ以上で
0:16:44	終わろうかと思いますが、
0:16:46	よろしいですかね。
0:16:47	はい。
0:16:49	では以上で面談の方を終了したいと思います。疲れ様でした。
0:16:53	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。